

2024年4月1日～2026年3月31日の間に 当院において消化器外科手術の治療を受けられた方及びご家族の方へ

「消化器外科医師の適正な労働時間確保のための予定手術時間と実際の手術時間との整合性の検討」へのご協力 のお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合外科学	准教授	高岡 宗徳
研究分担者	川崎医科大学総合外科学	教授	山辻 知樹
	川崎医科大学総合外科学	特任教授	浦上 淳

1. 研究の概要

2024年4月より本格導入された医師の働き方改革によって、法的な規制に則った労働時間内で外科医も業務に従事することが求められています。外科医にとって業務の中心である手術に費やされる時間を予め想定することは時間管理において重要であることから、術前計画と適切な実施の評価の1つとして、予定手術時間と実際の手術時間の整合性について検証します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024年4月1日～2026年3月31日の間に川崎医科大学総合医療センターにおいて消化器外科手術の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年12月31日

3) 研究方法

研究期間内に当院手術室にて消化器外科手術を受けた該当症例の電子カルテ内に保存される下記記録より患者情報、手術予定時間および実際の手術時間、術後経過を抽出し、その一致率および乖離を算出、比較・統計解析を行い、業務改善点等を見出す。

使用する情報源：麻酔記録、手術看護記録、手術記事およびプログレスノート記述

4) 使用する情報の種類

情報：電子カルテ内に保存される麻酔記録、手術看護記録、手術記事およびプログレスノート記述

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合外科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくく点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年6月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 外科

氏名：高岡 宗徳

電話：086-225-2111 内線 48078（平日：9時00分～16時00分）

ファックス：086-224-6821

E-mail：m-takaoka@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究は、学内研究費を用いて行われます。本研究に関する利益相反の有無および内容について川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。